諳厄利亞語韻示蒙 一

良隨書藏

洋学文庫
文庫8
C 580
1

早稲田文庫

諳厄利亜語韻示蒙附言

此書ハ初学乃輩ニ音韻の学を教ゆる為の書ニしてアメリカン・スペルリングボークと名くル書を校正増補するものなり其書ハ（按ニアメリカン・スペルリングブックを云）音韻乃学を集むるに広博ニして諳厄利亜属国一統のビルゲル（設名）も其広博なるを善とせり且ツ語の順序従来乃諸書よりも正しく韻並乃連綴ある諳厄利亜本国と属国と同一ならざるもの稀なり但し語の順序に世ニ乃語あり

服部氏蔵書

41ニ 8541

て字にも一二乃誤りあるをもて今悉く改正せり故に此書は語を集むることを極めて博くして明序に極めて正しく此書によりて諳厄利亜語を学ばんとする者は力を労せずして諳厄利亜の正しき語を口にすることを得べし

書中乃語例は語を正しく説話書記せしむる為に設たるものにして原詞及び轉用詞を載たり此語例は初学の為に要用のものにして是に依りて諸般乃語を轉用することを得べし故に文法の道に於て自ら学び得るなり且つ此のごとき一小冊にて語の數多きことは他書に比すべきもなし

書中語の讀法は諳厄利亜本國と属国とにて用ゐる正しきものを取れり是本國属国通じて此書を用ゆる為に然り。もとより但し本国属国讀法を異にすることは甚稀なり。間此のごとき讀あるものは甚正しき方を取りて正しからざるものを去れり

凡そ十年前より諳厄利亜の讀に於て錯誤起りて語中にuの字ある者は之を変じて yū となし

又dúの字ある語に於てdúを変してjúとなせる事
譬へハgraduál（増息）と云語をgrajuálと変する如
し又tの字を変してchとなせるもの例ハnatú-
re（自然）と云語をnachúreと変するか如し又或人ハ
語頭にsuperと云語あるときハsの字を改くshと
なせるもの例ハsuperior（最上）と云語ハshuperiorと
なせるか如し又diと連綴せるdの字をjの字
に変するもの有り即ちimmediate（直接）obedience（従順）
と云語を改くimmejiate, obejienceとなせるか如し

又此のかく音韻を錯謬せる乃語甚多きか故に之
を古に復せんとすれとも甚難し貌里太泥亜（ブリタニア）（諳厄利亜三国の総称）
乃官廳ニ其錯謬なるを混雑なる者ある
まして猶此語を改むる例ハ近世乃学者ハchúの
字djeの字及ひdjúの字ハ全く廃して用ひを
諳厄利亜の語中に音韻一定せん人々稀にに書
記して定まらさるものあれ此のかき語ハ此書
及ひ予の著せる所の諳厄利辞書中に書音韻最も
簡一なるく諸学士の最多く用ふ所のものを取述

是但し語の音ら規則に合せ候者を取らまし冀く
者後世の君子一致して諸般の音韻を交換せざ
らんことを欲

語例中ノ一 ２ 二 乃符を附するものは韻母の第
一音と第二音と相和らしめん為なり是アメリ
カン・スペルリングボークの例に傚ふものなり又
其他の韻母乃音を其字に符を附して読み易か
らしむ此法は語を読む為乃良法なり然し之を
諸利行の書に施さは大に益あらん此法を始めて

ヘブレーウ(国名)にて之を用ひ当今も入耳馬泥亜(ゼルマニア)
雪際亜(スヱシア)・獨乙都(ドイツ)(国名)並に(国名)にても之を用ふ此法は本国
及ひ他国の諳厄利亜語を学ふ児童をして速に
語の本音を説き出すことを得せしめん又此符に
よりて読誦すれは自ら語を分かし縦ひ諳厄利
亜学を広く隔遠の国にまても文学を要するに
乃一助ともなるへし
国にもあれは音字に符を附すことなきも何ぞ
とかく此ものゝ語を学ふものゝすくは語を易く正し

此方よりハ正しう法ふ方ふ正り易し
意太里亞(イタリア)(国名)文乃ぬきハ其字日本とも亞つらに
唯音字の排列ふく其義を知る其の故音字に符
を附ることを要せり

各章乃終里ふ挙ぐ所乃綴き語ハ成る丈兒童を
して義を解せしめ且其学を進ましむるに為に挙
ぐる此綴文ぞ同し譯ふても用ゆる所ふ従ひて
讀法ふ力を加へて語勢に讀ませて其文意を
曉らしむる等の法を知らしむ又久しく同し様

なる事のみを讀ましむる時ハ其文つく語例と
語との二例を学ばしむるふハ甚だ便なり
小児乃智慧漸く進みて語乃意味を解するに至
らバ宜しく速ふ語の義を教ゆ可し但し智慧ハ記
憶より出るハ遅く出るものふて小児義理を解し得
たる語ふても能く諳しく之を口ふするにとゞ域
得るなり故ふ之を教ゆるとも其義を了得するに
至らざるハ其る語を宜しく智慧稍発するを俟て之
を教ゆ可し

此書ハ原ト正しく書記し正しく説話する事を
教ゆる為にして多く語例を集め要用の語を除
くの而して文章の学の約説を此小冊中に載せ
たり故に此の如き小ゝ冊子と雖も吾国の児童
の為に実に要用すべき珍宝なり
此書を著したる附てハ亭子ウヨルク地名の有名
の諸学師に請て校正せり故に此書の公になり
ぬるを聊く諸学師の労を謝すと云

諸厄利亜言語音韻の解義

言語とは種々の音韻の言ひ方なり言葉の主に
ふよりて使ひ方にて同じ言葉も音ある意の主さと
聴きとを言ひかけて彼に語らさは振るゝ如なり
得さしむるなり
種々の音韻ハ音口の開合に因て常音を製する
なり是を挙ていへば ee ie ei 等の言葉の如
し和蘭語にてハ ee をエブ ie をエド ei をエット其と唱ふ迄ぞ諸厄利亜の呼方ハ未詳ならし
別ちハメーデキリンケル文字の義と名くは文字に

よりて顕さしむ（我方のカキクケコ。タチツテト等なり）口を開いて出る音をキリンキレットルの韻母と名く即a,e,o,なり（我方の五韻母アエオに同し但和蘭にはaをア。eをエ。oをオと唱ふ也其諳厄利亜にてはaに五音eに三音oに四音ありて其呼方未詳なれは）音は言なれは言葉を耳に覚らし然文字は書りては言葉を目に見せしむ

言葉の文字を順に集めて左に示す是をアルパベットと名く（我方の伊呂波と云か如し）諳厄利亜のアルパベット（伊呂波）は二十六字なり則

a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k,l,m,n,o,p,q,r,s,t,u,v,w,x,y,z,なり

二字連合せるch, sh, th, 及ng,は数種の音を顕さん為に用ひ又他の音siとzにより言ひ出さん言葉ありて即brazier,（銅鍛冶）azure,（空色）なり是とbrother, other, と言ふなり（文字に書くは口に言ふと遠ひあると云なり）

前に記せるa,e,o,は常に韻母なりi,とu,は或は韻母なりし或は父字となりし又常に韻母に用ひy,は韻母と父字との二ツを一と為るは字なり

A ハ五音アリ即 cake（末）, ask（頼ム）, ball（玉）, hat（帽子）, what（何）, なり a音を五通りに言ひ分る例を示せし也下皆同し

E ハ三音アリ即 mete（測ル）, met（逢フ）, prey（盗ミ）, なり

I ハ三音アリ即 pine（肺病）, pit（井）, fatigue（太儀）, なり

O ハ四音アリ即 note（印シ）, not（無）, move（動ク）, dove（鳩）, なり

U ハ三音アリ即 truth（誠）, busy（併）, bush（茂林）, なり

Y ハ二音アリ即 chyle, pity（憐）, なり

大抵用ゆる韻母の音ハ長く唱へ又ハ短く呼ふ

右の六字各数音の別あれとも多分ハ長く引と促めて呼ふとの二ツに出さるを云也

第一長き音の例

a ハ make（造リシ物）, fake（難渋）, grace（恵ミ）, の語ニ於てハ長く引

e ハ me（我ニ）, mete（測ル）, meter（詩ノ韻又唄ノ調子）, ニ於てハ長し

i ハ pine（肺病）, bind（括ル）, strife（口論）, ニ於てハ長し

o ハ note（印シ）, robe, post（飛脚）, ニ於てハ長し

u ハ true（誠ニ）, duty（勤メ）, rude（荒々シキ）, ニ於てハ長し

y ハ dry（乾キタル）, defy, ply（馴レ）, ニ於てハ長し

第二短き音の例

a ハ mat（疊）, band（帯）, grand（大ナル）, の語ニ於てハ短く呼ふ

e ハ bet（賭事）, men（人間）, sender（送ル）, ニ於テハ短シ
i ハ bit（一分二厘の木）, pin（針）, wish（希ヒ）, ニ於テハ短シ
o ハ not（無）, bott（ボタン）, bond（約束）, ニ於テハ短シ
u ハ dun（濃鳶色）, must（新葡萄酒）, fund（高カ）ニ於テハ短シ
y ハ pity（憐ミ）, cyst, cylinder（長ノ三圓キモノ）, ニ於テハ短シ
late（末）の語ニ於ケル a の長キ音ヲ短ク呼フ時ハ let, の語ニ於ケル e の音ト略〻符合ス
長キ e ヲ短ク呼ヘハ pit（井戸）の短キ i ト符合ス即 feet（足）, fit, の如シ i の短キ音ハ glory の如ク語尾ニ於テ音ヲ為サヽルハ y の音ト同シ
Hall（座敷）の語ニ於ケルカ明ナルハ a の長キ音ナリ roll ニ於ケル短キ o の音又 what（何）ニ於ケル a の音ト同シ
Pool（沼地）ニ於ケル oo の短音ハ pull（引ク）ニ於ケル u 又 wool（綿羊）ニ於ケル oo の音ト同シ
Not（無シ）ニ於ケル o の短音ハ r, s, th 及 ng の前ニ在ルヲ除キ皆長ク讀ム即 nor（而シテ無キ）, cross（斜ニ）, broth（肉汁）, belong（属スル）, 等ナリ
文字の別チヲ韻母ト其前ニ附ルハ尤宜ク言ヒ

出さは〻也即 eb, ed, ef, eg, ek, el, em, en,
ep, er, es, et, ex, ez, 等の如し
全く音を支つる韻部と（音の響りざると云）無聲韻母と名
く即 eb, ed, eg, ek, ep, et, 等なり全く音を支
えざる韻部を半韻母と名く即 ef, el, em, en,
er, es, ex, ez, eth, 等なり
舌と口の上齶によりて製出せる其部を palatals,
（上齶母の義）韻と名く即 ek, eg, eng, 等なり
s 及 z の二字は吹く字音と名く（吹やうに言ふ字なると云也）

Church,（寺）に於ける ch の音 shine（日照り）に於ける sh の音
及び think（思フ）, thou（汝）に於ける th の音は一音なり此音
諸厄利亜語は一字にてこれを持さば（一字にては音を為ざれば也）
b は bite（曲り）に於る如く唯一音あり而して dumb,
の如きは m の後に於ては音なし（語尾の b を助字の如く讀ざる也）
c は a, o, 及び u の前に於て k の音あり即ち
cat（猫）, cot（小屋）, cup（コップ）, 等なり e, i, 及 y の前に於ては s
の音あり即 cell（僧ノ部屋）, cit（町人）, cycle（周り）, 等なり但 k の前に
於ては音なし即 sick（病ワ）, thick（厚キ）, 等の如し

Dハ唯一音なり即 day（昼）、bid（言付ル又名ル）の如し

Fハofの外ハ唯一音なり即 life（生キル）、fever（熱）なり其ofに於てハvの音なり

Gハa、o及uの前に於てハ上顎に籠りたる音なり即 game（共ニ遊ブ）、go（行ク）、gum（鉄炮）に於けるか如し然れともe、i及yの前に於てハ時としてハ少し籠りたる音なり時によりてjと同し音あり即 gem（石）、gin（ヂネーフル酒）の如し

Hハ息を吹く音なり

Iハ言葉によりて或ハyと同音に用ゆる事あり即 million（百萬）をmill-yunと言ひ出せるか如し

Jハdzhによりて言ひ出せる音と符合す即 joy（歓）に於けるか如し

Kハ唯一音なり即 king（王）の如し

Lハ唯一音なり即 lame（跛）、mill（車）等の如し時に因りwalk（徘徊）の如くkの前に於てハ音なし又calm（静ナル）の如くmの前に於ても音なくcalfの如くfの前に於ても音なし

Mハ唯一音なり即 man（人間）、flame（焔）等の如し

n ハ唯一音あり即 not 無 sun 日 等の如し但 m の後ニ在ル時ハ音なし即 hymn 讃ノ哥, solemn 礼儀正キ の類なり

p ハ唯一音あり即 pit 井戸, cap 等なり

q ハ u の力あり常ニ u の字ニ従フ即 question 尋子 の類なり

s ハ其持前の音なり即 send 送ル, less 尚少キ 等なり又 z の音なり即 rise 河源 なり

t ハ語首と語尾ニ於てハ其持前の音あり

v ハ唯一音なり即 voice 聲, live 生ル の類常ニ音を変る事なし

x ハ ks の音を顕ス即 wax 蝋 の類時ニよりて gz の如し言ひ出ス即 exact 進ル の如し語首ニ於てハ z の如く言ひ出スあり即 xenophon の如し

z ハ其持前の音なり是言へハ s の音なり即 maze の如し

c ハ韻母の e 或ハ i の前ニ従フ時ハ e 或ハ i と共ニ合し sh の音となる即 cetaceous 鯨ノ道具, gracious 恵アル, appreciate, social 連中ノ, conscience 心ノ, と書く所ハ cetashus, grashus,

appreshate, soshal, Conshense, と言ひ出せるなり
亦ciの前に於る t の字も他の韻母なりて從ふ時もci と等しく sh の音となれる即 nation(人々), Partial(一方ニ),
patience(堪) と書くも nashon, parshal, pashense,
と言ひ出すも也但 t の前に s 或ハ x あるもあし
其例ニ外れし事あり即 bastion(部構), Christian(教徒), Mix-tion(混交スル事) と Baschun, Chrischan, Mixchan, と言ひ出す
次の類なり
s の字に ci を添え韻母に先ちる時ハ其韻母と

合し sh の音となる即 mission(送ル事) と mishon と言ふ又
zh の音となれる即 osier と ozher と言ふが如し
u の字或ハ yu の音あり即 use(用ル), union(一致), と yuse,
yunion と言ふの類なり
Ch ハ大凡 tsh の音あり即 Church(寺) の類又 k の音
あり即 Character(印シ) の類又 sh の音あり即 machine
の類なり
gh ハ諳厄利亜の此音に於てハ語中語尾何れも
次の語の外ハ音なし即 Cough(咳嗽), Chough(鳥名), Clough,

enough(十分ナル), tough, rough(獣ノ後足曲), laugh(笑フ), rough(荒々シキ), slough, cough(軍兵), trough(和クナル),
等の如し又此字ニｆの音を含め是譜尼利亜
語ニ於て其持前の音なしと云へき徒なり
Phハ Stephen ヲ Steven と唱ふ此の外ハｆの音を
持て是即 philosophy(學問) の如し
ngハ開きし音とかし籠もる音の二ッあり開きし
音ハ即 sing(謡フ), singer(謡フ人) 等ニ籠もる音ハ finger(指), conger(鰻ノ種),
等なり
Shハ唯一音あり即 shall(可シ) の如し

Thハ二音あり一ハ吹出ル音なり即 think(思フ), both(両ナカラ),
の如し一ハ籠もる音なり即 thou(汝), this(此) の如し
Scハ a, o, u 及 r の前ニ於てハ sk の音あり即ち
scale(拂底ナル), scoff(罵語), sculpture(銅板等ヲ彫ル), scroll(巻), 等なり e, i 及 y の前
ニ於てハ s の音あり即 scene(戯場ノ初段), science(學問), scythian,
等の如し
Pハ s の前ニ於てハ音なし即 psalm の如し
g 及 k ハ n の前ニ於てハ音なし即 gnaw, know(知),
の如し

Rhハその後ニ於てハ音なし即 Rhetoric（算術）の如し
Wrハその前ニ於てハ音なし即 Wring, Wrong, 等
なり就て Wh を以て言ひ始る言葉ニ於て Wh ハ言ふ
時ハ h ニ先にし w 是ニ続て When を hwen と言ふ也
一語の内ニ於ける二韻を唯一音ニ言ひ出すを Dig-
raph と名く
二韻の oi と oy ハ同し音ニ言なり（字ハ異なれとも音ハ同しき也）
即 Join（一致スル）, Joy（歓ビ）の如し
二韻の ou と ow も同音なり即 Sound（音）, Now（今）の

如し然れ共語尾の ous、ou ハ二韻なれども us と言
ひ出すもの也即 Pious（神ヲ恐ル）, Glorious（結構ナル）の如し
Digraph（二韻を一音ニ云ニ名目前ニ見ゆ）乃 ai 及 ay は一綴の言
葉及ひ音を備ふる綴りニ於てハ長き a の音なり
かしの言葉音を備へぬ綴りニ於てハ e の音に
てなし即 Certain（實ニ）, Curtain（暖簾ノ類）等なり Digraph（同上）乃
au, aw は fallen（落ル）ニ於ける如く廣き a の音なり又
ew ハ長き u の音なり即 new（新キ）乃類及ひ音を出さ
ざる綴りニ於ける ey ハ短き y の音を持てり即ち

valley（谷）の如し
Digraph（同上）の韻母を発し言時は外の音なし即
Court（家内）, road（道）, slow（長カル）等の如し
Digraph（同上）の ea, ee, ei, ie を発言せしは此書
中に於てハ長きeの音なり即 near（方ニ）, meet（要用ニ）, seize（握ル）,
grieve（悲）等より百四十三章に於る韻母ハ是と違
ひなし
Digraph（同上）の oa ハ発言に附ハ長き o の音なり
総の法則に於て論を除き言ひ方ハ如此き十字に因

りて是を区別せ
一綴の言葉に於て韻母に一の文字添て e に終
るに附ては長く引即 fate（運）, mete（測ル）, mite（穀物ノ虫ノ名）, note（印シ）, mute（聲ナキ）,
等の如し発言せしに附ては即 dote（耄）, jibe（共ハル）の類なり
是よりしては如此き韻母の上に印を付るに及ば
ずして釋せり
一字か二字の文字を以て終る一綴の言葉に於
る韻母ハ発言せしは其第二格（前より出せる短音の例也）短き
音を持てり即 ban（悪ロスル）, mat（畳）, camp（軍兵）, blank（白キ）, 等の如し

是よりして此字の表面に於ては其上に印しを附
ぶに及ばずして辨せり

觽解

音を定むる點

長き韻母

A, ā. E, ē. I, ī. O, ō. U, ū. Y, ȳ.

A, ā は bar（車馬通路ヲ止ル物）, father（父）に於ては意太里亜のaの音
なり字體を異なる二字例に出せしはAハ語首
aハ語中に用ふる為なり以下皆是に倣ふ

意太里亜の音
未だ詳ならず

A, a は fall（落）に於ては廣きa, aw 又は au なり

A, a は was（有シ）, watch（袂時計）に於ては au の短き音なり

E, e ハ prey（盗ミ）, vein（血筋）ニ於てハ長キ a なり

I, i ハ marine（海ニ属スル）ニ於てハ拂郎察の i 及ひ諸厄利亜の oo なり 拂郎察の音亦まさ詳からに

I, i ハ inch（指）, pen（羽筆）ニ於てハ短キ i 及ひ e なり

I, i ハ bird（鳥）ニ於てハ短キ u なり

O, o ハ move（運動スル）ニ於てハ拂郎察の ou 及ひ諸厄利亜の oo なり

O, o ハ book（書物）, took（取リ）ニ於てハ短キ oo なり

O, o ハ dove（鳩）, love（愛）ニ於てハ短キ u なり

u, u ハ full（一杯ニ）, pull（引抜キ）ニ於てハ oo の短キ音なり

u, u ハ use（用ヒ）, union（一致スル）ニ於てハ yu なり

C, c ハ cap（帽子）, cope（僧ノ上着）, cup（コップ）ニ於てハ又 k なり

Ch, ch ハ chaise（コップ）, machine（道具）ニ於てハ sh なり

G, g ハ gem（玉）, gin（ゼ子ーフル酒）ニ於てハ j なり

S, s ハ muse（哥ノ女神）, his（彼ノ）ニ於てハ z なり

Th ハ吹出を極て言へ thin（薄キ）の如し亦顎ニ掛ても言ふ thou（汝）乃如し

言葉を書顕す法

言葉の音韻を備ふる綴字ハ此ノ字ニよりて定むるなり

其字を韻母ニ附属するものハ其韻母乃音長く引也

即 fātal(難渋ナル又必至ヘキ), ēqual(一様ニ), īdol(佛), pōet(詩人), hūman(人ナル), defȳ, 等の如し

又同しく此字を文字乃上ニ附てハ音を定むるなり即 fāce(顔), mēet(逢フ), īce(氷), cōld(寒キ), rūde(粗暴ナル), crȳ(呼フ), 等の如し

此間原書二葉脱セ

アルパベット

文字ノ名	意太里亜文字		羅瑪文字	
a	A	a	A	a
be	B	b	B	b
ce	C	c	C	c
de	D	d	D	d
e	E	e	E	e
ef	F	f	F	f
ge	G	g	G	g
he, ∝; aytch	H	h	H	h
i	I	i	I	i
ja	J	j	J	j
ka	K	k	K	k
el	L	l	L	l
em	M	m	M	m
en	N	n	N	n
o	O	o	O	o
pe	P	p	P	p
cu	Q	q	Q	q
ar	R	r	R	r
es	S	s	S	s
te	T	t	T	t
u	U	u	U	u
ve	V	v	V	v
oo	W	w	W	w
eks	X	x	X	x
wi ∝; ye	Y	y	Y	y
ze	Z	z	Z	z
and	*	&	*	&

重ねし文字

ff, ffl, fi, fl, ffi.

*又是等文字ニかられ但 and（及ビ）乃代ニ用ゆるもの
ニ見輩ハ是と and と讀是之難かる為し & and
&c. とハ讀まれし 此義解し難し

Ape 猿	face 顔
Boy 男子	boat 小舟
Cat 猫	Cup コップ
Dog 犬	Desk 文庫机
Egg 卵	eye 目
Fan 扇子	fork 肉叉
Gun 鉄炮	goose 鵞
Hat 帽子	hen 雌鶏
Ink 墨	pen 羽筆
Jug 徳利酒器	jay 鳥名
Key 鍵	king 王
Lamb 小羊	lame 跛
Man 人	moon 月
Nut 菓物	nail 釘
Ox 牛	Orange 蜜柑ノ類
Pin 羽筆	pipe 管
Quail 鶉	quill 羽筆
Rat 鼠	ring 指輪

A	a
B	b
C	c
D	d
E	e
F	f
G	g
H	h
I	i
J	j
K	k
L	l
M	m
N	n
O	o
P	p
Q	q
R	r

S	s	Saw 鋸	Sheep 羊
T	t	Tongue 舌	tree 樹
U	u	urn 花瓶	up 上
V	v	vial 薬瓶	vest 着服
W	w	Wolf 狼	wig 鬘
X	x	Wax 蝋	flax 麻
Y	y	yoke 軛	yarn 綿絲
Z	z	Zest	Zone 風土

先生弟子ニ問ふニハ試ニ
讀むる乃如く一二三文字
ゆゑ何を Ape 及 face
ニ於ける a の讀ハ a を何ゆる
何ニ dog, boy ニおける
o の讀ハ何ゆる

第一章

韻母のよふ一の文字を添へて音をなし綴合をなすを我五十音の如し二三章皆同し是ハ常法となせるを以下倣之

ba be bi bo bu bij

ca ce ci co cu cij

da de di do du dij

fa fe fi fo fu fij

ga ge gi go gu gij

○go on 進み行け

○hij me 我の側に

○ik is 夫ハ居る

○is he 彼人ハ居ル

○go in 自ラ行け

○we go 我等ハ行く

○to me 我の傍に

○he is 彼人ハ居る

○go up 立て行け

○to us 我等の側に

○to be 在る

○I am 我ハ居る

○an ox 一ノ牛

○do go 行け

○on it 其側に

○on us 我等の側に

第二章

ha he hi ho hu hy

ja je ji jo ju jy

ka ke ki ko ku ky

la le li lo lu ly

ma me mi mo mu my

na ne ni no nu ny

○ is he in
彼人ハ内ニ居ルヤ

○ go on
[illegible]行ケ

○ is it on
夫ハ側ニ在ルヤ

○ so go on
我モ行ク

○ is he up
彼人ハ起テ居ルヤ

○ is it in
夫ハ内ニ有ルヤ

○ it is so

○ he is in
彼人ハ内ニ居ル

○ it is on
夫ハ側ニ有ル

○ is it so
夫ハ左様ナルヤ

○ he is up
彼人ハ起テ居ル

○ it is in

夫ハ在往である

夫ハ肉りける

第三章

pa	pe	pi	po	pu	py
ra	re	ri	ro	ru	ry
sa	se	si	so	su	sy
ta	te	ti	to	tu	ty
va	ve	vi	vo	vu	vy
wa	we	wi	wo	wu	wy

○ is he to go
彼人行く事なりや

○ we go to it
我等ハ夫側に行く

○ it is by us
夫ハ我等の側になり

○ am I to go
我行く事なりや

○ so he is up
彼人立て居るなれバ

○ is it by us
夫ハ我等の側になりや

○ he is to go
彼人行く事なり

○ he is by me
彼人ハ我側に居る

○ if he is in
彼人内に居るなれバ

○ I am to go
我行く事あり

○ go up to it
其側ニ立行事

○ So I am up
吾立て居るなれハ

第四章

韻母乃下ニ一字を添へて音となすを
綴方と云ふ 第六章共ニ同し

ab	eb	ib	ob	ub
ac	ec	ic	oc	uc
ad	ed	id	od	ud
af	ef	if	of	uf
ag	eg	ig	og	ug

○ am I to go in
我内ニ行く事なるや

○ So he is to go up
彼人ハ立行く事なるなれハ

○ I am to go in
我内ニ行く事なり

○ is he to be by me
彼人我側ニ居る事なるや

○ is he to go in
彼人ハ内ニ行事なるや

○ he is to be by me
彼人ハ我側ニ居る事なり

○ he is to go in
彼人ハ内ニ行事なり

○ I am to be by it
我其側ニ居る事なり

第五章

aj ej ij oj uj

ak ek ik ok uk

al el il ol ul

am em im om um

an en in on un

ap ep ip op up

第六章

ar er ir or ur

as es is os us

at et it ot ut

av ev iv ov uv

ax ex ix ox ux

az ez iz oz uz

○ is he to do so by me
彼人ハ我側ニ於テ左様ニ為ス事ナルヤ

○ it is to be by me
夫ハ我側ニ在ル事ナリ

○ he is to be so by me
彼人ハ我側ニ於テ左様ニ成ル事ナリ

○ By me it is to be

我依り之をなす事あるべし

○ So I am to be in

我れ同じく居る事になるべし

○ I am to be as he is

彼人居るならば我も居る事になるべし

○ He is to go up by it

彼人ハ之ニ依て之に行く事になるべし

○ He is to be as I am

我居るならば彼人も居る事になるべし

第七章

韻母の上に二の文字を添へて言ふなり
総て之をなして八九十章共ニ同し

bla	ble	bli	blo	blu	bly
cla	cle	cli	clo	clu	cly
fla	fle	fli	flo	flu	fly
gla	gle	gli	glo	glu	gly
pla	ple	pli	plo	plu	ply
sla	sle	sli	slo	slu	sly

第八章

bra bre bri bro bru bry

cra cre cri cro cru cry

dra dre dri dro dru dry

fra fre fri fro fru fry

gra gre gri gro gru gry

第九章

pra pre pri pro pru pry

tra tre tri tro tru try

wra wre wri wro wru wry

Cha che chi Cho Chu Chy

Sha She Shi Sho Shu Shy

Ska Ske Ski Sko Sku Sky

○ She fed the old hen

彼女ハ老雌鷄ヲ畜ヘリ

○ She put her hat on the bed

彼女ハ己ノ帽子ヲ寝間ニ置ク

○ The hen was fed by her

其雌鷄ハ彼女ヨリ畜ヘラレシ

○ See here the hen can run
如何ニ此雞ハ走リ得ルカヲ見ヨ

○ Did you get my hat
汝吾ノ帽子ヲ得シヤ

○ I did not get the hat
我ハ帽子ヲ得ザリシ

○ I met him in the lot
我ハ彼人ニ圍場ニテ逢ヘリ

○ My hat is on the peg
吾ノ帽子ハ杭ノ上ニアリ

○ The cow was in the lot
牛ガ圍場ニ居タリ

○ She may go and get my hat
彼女ハ我ノ帽子ヲ得ニ行クモ可ナリ

○ See how hot the sun is
日ノ如何ニ暑クアルカヲ見ヨ

○ It is hot to day
今日ハ暑クアリ

○ I will go and see the man
吾ハ人ヲ見ニ行ン哉

○ See the dog run to me
見ヨ吾ノ側ニ犬ガ走リ来ルヲ

○ She has a new hat
彼女ハ新シキ帽子ヲ持チ居ル

○ He sits on a tin box.
彼人ハブリッキ（鉛錫）製ノ箱ノ上ニ坐シテ居ル

第十章

pha	phe	phi	pho	phu	phy
qua	qué	quí	quó		
spa	spe	spi	spó	spú	spy
sta	ste	sti	sto	stu	sty
sca	sce	sci	sco	scú	scy
swa	swe	swí	swo	swú	swy

第十一章 頭母の三字の文字を添へて音となる組合となるもの

spla	sple	spli	splo	splú	sply
spra	spre	sprí	spro	sprú	spry

Stra Stre Stri Stro Strú Strý

Shra Shre Shri Shro Shrú Shrý

Scra Scre Scri Scro Scrú Scrý

Scla Scle Scli Sclo Sclú

第十二章

綴母を中ニ夾ミ首尾ニ父字を添へて書したるを綴音といふ十六章まて皆同し

cab fib fob bib lac hid wed mid

dab gib gob tab sac lad rid rid

mab fib hob dub ric mad hid tid

nab rib jib sub rid pad lid god

tab rib cob hub sac sad lid kid

neb fib mob lub bed led rid tod

web bob rob rub bid red pid nod

bib cob sob tub gad sed kid odd

原書に此疑くハodd乃誤り歟

○ A new tab cap

一ノ新しきtab帽子 詳未

○ I hid it in the box

吾ハ夫を乃其箱乃内ニかくせり

○ A cob web 一ノ蜘の巣

○ put on his new hat

彼の嘴ニ笠の付いた帽子を被りた

○ He has got a new tub

彼人ハ新しき桶を得たりし

○ Do not go in the mob

人々の中へ行くな

○ He is not a bad boy

彼人ハ悪しき子供ニハあらぬ

○ She can rub off the dust

彼女ハ能く埃を拂ふ

○ The lad had a new pen

子供ハ新しき羽筆を持ちたる

○ She put my cap in the tub

彼女ハ我帽子を桶の中ニ置く

○ He saw a mad dog

彼人ハ狂犬を見し

○ He had a new red cap

彼人ハ新しき赤き帽子を持ちたりし

○ She led him to bed
彼女ハ彼人を寝所ニ入レし

○ I can do as I am bid
我ハ言付られし如くする事が出来る

第十三章

ped cad fag tag peg beg peg kam
rod mud hag rag weg hug rug lam
lod bag jag wag rig jig dam mam
bud cag tag leg weg tug ham ram
rud lag nag keg fig mug jam gam

○ She has a new bag for me
彼女ハ我為ニ新しき袋を持て居る

○ Do not let a bug get on the bed
(bug 寝床ニ在る虫ノ名)
寝床ニ障る蟲を除けよ寝床より起こ

○ I can tag the boy
我ハ子供を追ひ行く事が出来る

○ I put the mug in my new tin box
我ハ音がブリッキ(錫)製なる箱ニ入物ニビール(麦酒)壺を入れたり

○ A big dog can run
猛犬ハ能ク走ル

○ he has fed the pig
彼人ハ豕ニ飯ヲ喰ヘシ

○ I can rub the ink off my pen on a rag
我ハ羽筆ノ墨ヲ古切ニテ能ク拭フ

○ the men can put on his wig
其人ハ己ガかつらヲ被ル事ガ出来ル

○ He may put the red pig in my new tin box
彼人ハ我ガブリッキ(新錫)ニテ拵ヘル箱の内ニ赤キ焼の豚ヲ入るる事ガ出来ル

○ my nag can run in the lot
吾ノ羸ヲ切ル馬ガ競場(評未)ニ於テ能ク走ル

第十四章

hen gin dan ren men fin win gun
gen hin fen ten pen rin ten pun
din min man den ten kin don run
him rim pan pen hen pin bun sun

rim sum ran hen bin sin dún tún
dám ban tan ken din tin fún nún

第十五章

hap gap pip mep fëir fat vat net
rap dip sip top tär rat bet wet
map hip kip pop jär hat jet pet
lap rip nip sop mär mat get set
pap tip fop lap pär sat let ǰet
tap lip hop bär bat pat met has

第十六章

bit pit jot got nút vez foz can
cit sit lot wot rút fiz wad cap
fit wit not bút laz miz wan cat
lit bot pot cut laz pöz war sap
mit cot rot hút waz siz was gin
nit dot sot jút sez boz wat chit

○Ann can hem my cap

ann 人ノ名 吉洋 ノ我ノ帽子ヲ能ク縫ヒ得ル

○ It is on my lap
夫ハ私ノ膝乃上ニある

○ She has a new fan
彼女ハ新しき扇子を持し居る

○ I will get a new map
私ハ新地図を得ル事を好む

○ He hid in his den
彼人ハ穴乃中ニ隠れし

○ A bat can fly
蝙蝠ハ能ク飛ぶ

○ The pig is in his pen
豚ハ其小屋乃中ニ居る

○ A cat can catch a rat
猫ハ鼠を能く捕ふ

○ I see ten men
吾ハ拾人を見る

○ He had a gun
彼ハ鉄炮を持し居る

○ I met the boy
吾ハ子供ニ会へり

○ He sat on my box
彼ハ吾が箱の上ニ坐せり

○ I saw him run
我ハ彼が走行するを見たり

○ The map is wet
地圖ハ濕りてあるなり

○ She will sit by me
彼女ハ我側ニ坐するを好む

○ He had cut my pen
彼人ハ我洋筆を切りたり

○ I put the pin on my tin box

○ Now the sun is set
日ハ一つの道具なり

○ I met six men to day
我ハ今日六人ニ逢ひたり

○ Ten men sat by me
拾人が我側ニ坐せり

我ハ洋筆とブリッキ（錻錫）乃入物の上ニ置く

○ I had a nut to eat
我ハ菓物を喰ふ為ニ持てあり

○ Can you fix my hat
汝ハ我帽子を補ふ事がなるや

○ Let him get the tap
彼人ニ我室を得さしめよ

第十七章

頭母を中と尾ニ置く四字の綴合 並ニ頭母を首ニ置く三字の綴合とハ二十章まで皆同し

babe bide code ade bite cage cake

bade hide mode dace dice gage take

cade ride node face lice page make

fade side rode lace mice rage lake

jade tide lobe pace nice sage sake

lade wide robe race rice sage take

made ode cube mace vice fuge wake

wade bode tube ice age bake cake

第十八章

dike joke dale mile dole came

bike duke male nile hole dame

pike luke hale pile mole fame

tike puke pale tile pole game

coke ale sale vile dole lame

joke bale tale wile tole name

poke cale bite bole mule same

woke gale file cole rule tame

第十九章

hope ripe mope ore more rose

cape ripe hope bore sore gaze
tape type rope core tore haze
nape cope ere fore fore maze
rape pope here gore core laze
pipe lope sere lore rose craze

第二十章

cure kine lane ate bite dose
lure nine mane date cite bone
pure pine pane gate kite cone

sure fine sane fate mite zone
dine wine cane hate rite none
line kine wane late site tone
mine bane base mate dire fine

此間原書一葉脱之

第二十六章 二字連テ一語ト為ス綴字之部

Bá ker dro ver só lar mo ral pa pal
Sha dy clo ver po lar po em co pal
la dy do nor tu tor fo rum vi al

ti dy	va por	So ber	Sa tan	pe nal
ho ly	pa vor	pa cer	pú el	ve nal
li my	fla vor	ra cer	dú el	fi nal
Sli my	Sa vor	gro cer	crú el	o ral
bo ny	ha lo	ci der	grú el	ho ral
po ny	So lo	Spī der	pú pil	mú ral
po ker	he ro	wa fer	la bel	na sal
ti ler	ne gro	wa ges	li bel	fa tal
ca per	ty ro	ti ger	lo cal	na tal

pa per	bú bo	ma ker	fo cal	pe tal
ta per	Sa go	ta ker	vo cal	vi tal
vi per	tú lip	ra ker	le gal	to tal
bi ter	Ce dar	Se ton	re gal	o val
fe ver	brī er	rú in	dī al	plī ant
o ver	frī ar	hy men	trī al	gī ant

○ Bakers bake bread and cakes.
麪餅と菓子を焼く

○ I like to play in the shady grove.

我等桜の樹陰に遊んだりし

○ Some fishes are very bony.

魚ハより甚だ骨多き者あり

○ I love the young lady that shows me how to read.

我ハ吾に讀書を教ふる所の少女を深く愛情あり

○ A pony is a very little horse.

果下馬ハ甚だ小なる馬なり

○ We poke the fire with the poker.

我等巨箸にておこらん

○ The best paper is made of linen rags.

好き紙ハ麻絲の古切より製す

○ Vipers are bad snakes, and they bite men.

蝮蛇ハ悪しき蛇にして人を咬む

○ An ox loves to eat clover.

牛ハカラーフル緑草を好み食す

○ The tulip is very pretty, growing in the garden.

チユルプ花名ハ園中ニあり甚だ美し

○A dial shows the hour of the day.
日時計ハ昼の時刻を測る器なり

○Cedar trees grow in the woods.
セーデル木名ハ林中ニ多く生ス

○The black-berry grows on a brier.
ウィッテベシー果名ハ荊棘（バラ）ニ生ス

○Cider is made of apples.
シデルといふ酒ハ林檎ニて醸し造る

○A tiger will kill and eat a man.
虎ハ能く人を殺して餌食とス

○A raker can rake hay.
莢丁（ゴトリ）ハ藁をハルクの熊手にてかきあつむる

○A dial is a little bottle.
ヒアルハ小さき罎なり

○A giant is a very stout, tall man.
ギアント長人ハ甚だ勇ましくして丈高き人なり

○The holy bible is the book of god.
此ハ経の文意解し難し

第二十七章

韻母と之字同ふ至て他字の
連合と為せ二十九章迄皆同し

scab crib grib bled plod stag

shab drib thrib bred trod scrag

flab squib stib sped scud snag

slab ~~chib~~ shad shred stid drag

crab clib clad sled slig strag

drab snib glad sled frag flag

glib scrib shed shod crag sham

snib drib fled clod shag cram

第二十八章

clam prim scam spin trap slip

dram trim clam grim scap grip

slam swim plan trim strap scrip

sham prom span chap chip drip

skem skim bran clap ship trip

skim plum glen flap skip ship

brim cram chin slap clip frit

grim drim skin snap flip sprit

第二十九章

chop chär flat slit blot slur

shop spär plat smit clot smut

slop stär spat spit plot glut

clop stïr brat brit spot shut

stop slir fret grit grot flag.

strop slur tret scot trot flog

stear spur tret shot shut flos

○ Ann can spin flax. ○ A shad can swim.

アンナ女が麻系を紡(ツム)ぐ ヱルフ魚が游ぐ

○ He was glad to see me. ○ The boy can ride on a sled.

彼人は悦びしく見ゆる 小児が橇(ソリ)に乗る

○ A plum will hang by a stem. ○ The boy had a drum.

鳥乃羽が赤ふかしぶ 小児が太鼓を持てり

○ He must not drink a dram. ○ He set a trap for a rat

彼人彰酒につまき諸飲む 彼人鼠を捕たり

○ Ships go to sea

船が海に走り行く

○ The boy can chop.
小児が斧で切り目を流る能

○ The man shot a ball.
人が毬を流く

○ I saw her skim the milk in a pan
鍋乃中なる乳汁が凍ずるを見た

第三十五章 韻母と二字目に在る 尾字の綴方ある 韻母と首に在る 二字の綴方 と 在と

gild	bōld	land	band	wind	fond
bird	cōld	hand	end	blend	pond
gird	gōld	land	bend	bind	fund
third	fōld	rand	fend	find	bind
herd	hōld	bland	lend	hind	band
curd	mōld	grand	mend	kind	band
child	sōld	gland	rend	mind	hind
mild	tōld	sand	send	rind	pind
wild	scōld	stand	tend	wind	scarf

old and strand rend bond king

第三十一章 一韻毎ニ[illegible]字ノ綴合ニ[illegible]

herd surf such lünch stänch lunch

curd scarf filch blänch hänch pinch

surd rich milch bränch bünch latch

turf much gänch cränch hünch match

ärch porch crotch ditch switch crutch

märch crouch botch hitch twitch much

stärch torch blotch pitch sketch plush

härsh church itch stitch stretch flesh

märsh lurch bitch witch clutch crush

○ to filch is to steal; we must not filch.

盗賊ハいつも[illegible]盗みを[illegible]

○ a bird sits on a branch to sing.

鳥が葡萄の蔓の上に居て囀る

第三十二章 二言を以て一つの語と為を綴合と云ふ

a base re claim un say ben daim

de base pro claim ad say me moir

in case	dis claim	a vay	de voir
a bate	ex claim	o bey	a droit
de bate	de mean	con vey	ex ploit
se date	be moan	pur vey	de coy
cre ate	re tain	sur vey	en joy
ob late	re main	de fy	al loy
re late	en gross	af fy	em ploy
in flate	dis creet	de ny	an noy
col late	al lay	de cry	de stroy

trans late	de lay	re boil	con voy
mis state	re lay	tur moil	e spouse
re plete	in lay	de spoil	ca, rouse
com plete	mis lay	em broil	de vour
se crete	way lay	re coil	re doubt
con crete	dis play	sub join	de vout
re cite	de cay	ad join	a mount
in cite	dis may	re join	sur mount
po lite	de fray	en join	dis mount

ig nite ar ray con join re count

re deem be tray dis join re nown

es teem por tray mis join en dow

de claim a stray pur loin a vow

○ Strong drink will debase a man.

強烈なる飲料は人身に害あり

○ Hard shells inclose clams and oysters.

堅き殻は[illegible]蠏と蛤の類なり

○ Men inflate balloons with gas, which is lighter than common air.

ウインドバル（空中へ昇る大なる毬の名）の内には常の空氣より軽き瓦斯氣を満たしむれば揚るなり

○ Teachers like to see their pupils polite to each other.

学徒の互に甲乙なく丁寧に教育するを見ることを好む

○ Idle men often delay till to-morrow things that should be done to-day.

氣のながき人は今日の中せねばならぬ事を延ばすなり

かけて居る

○ good men obey the laws of god.

天命に從順なる人は善人と謂なり

○ i love to survey the starry heavens.

我は星の天に羅なるを観るが好きじや

○ Careless girls mislay their things.

そゝかなる娘は自分のものを忘るる

○ the robber waylays the traveler to rob him.

盗賊が旅人を落しなかり隠らすれ

○ the fowler decoys the birds into his net.

鳥籠は鳥乃巣なり

○ Cats devour rats and mice.

猫は鼠を捕る

○ the adroit rope dancer can leap and jump and perform as many exploits as a monkey.

綱渡りの上手は綱の上にて踊りて猿へ勝る武士の

芽振も一出家の志似たれをすなるなり

○ wise men employ their time in doing good to

all around them.

智者ハ諸乃善事ニ時を費ス

○ in the time of war, ships make a Convoy.

乱世ニハ軍艦ニコンホイ（軍用の為ニ商船を出し積重る舎）とハ称せり

○ Kings are men of high renown.

王ハ人家の内ニて最も尊きなり

○ Who fight, and strive to wear a Crown.

戦争して争ひ勝ッ者ハ冠を戴く（王と為ると云ふ義）

○ God created the heavens and the earth in six days, and all that was made was very good.

造化ハ六日乃間ニ天地を容易く造りて其功業ハ甚よし

○ God will destroy the wicked.

造化ハ天理ニ悖る人を生する事を好まズ

第三十三章 二ッの同韻母をなく言葉を示して綴方と為す三十五章迄皆同し

Deed breed glee steel green sleek

feed seed free deem deer sneek

heed weed tree geem teen reek

bleed bee eel teem steen creek

meed fee feel sheen queen greek

need see heel keen ween seek

speed lee peel spleen leek week

reed flee reel screen cheek beef

第三十四章

deep weep beer lees meet brood

sheep sweep fleer beetles greet geese

keep beer sneer beet street fleece

sleep deer peer feet sweet sleeze

peep cheer seer sheet food reeze

creep sheer steer fleet mood breeze

steep jeer queer sleet rood freeze

第三十五章

boom groom loo troop boose rook

coom boon coo stoop choose brook

doom loon two swoop noose crook

loom moon coop boor cook took

bloom noon scoop moor hook wool

gloom spoon loop poor look wood

room doom sloop loose flook good

broom swoon droop goose nook stood

fool spool boot hoof proof son

pool stool coot roof blood won

tool roost moot hoop flood ton

○ plants grow in the ground from seeds.

草木ハ皆種より生ず

○ the man cuts down trees with his axe.

人がドンスボーム(木名)と斧にて伐る

○ Eels swim in the brook.

鰻鱺が池乃内に游ぐ

○ Sharp tools are made of steel.

能く切る道具ハ皆鋼鐵にて作る

○ The sun seems to rise and set each day.

太陽ハ日々昇りよく沈むに見ゆる

○ the axe has a keen edge and cuts well.

斧に以て木を切る

○ in the spring the grass looks green and fresh.

草の生たるに青くして見えて涼しくなる

○ I have seen the full moon.

我は満月を見たり

○ A king and queen wear crowns of gold.

王と妃は黄金の冠を戴く

○ I will kiss the babe on his cheek.

かの小児の頬を吸ひて居べし

○ We go to church on the first day of the week.

今日は日曜日なるに我お寺に詣らん

○ the man puts a curb round our deep well.

井戸の周囲に小圍をする

○ Wool makes the sheep warm.

羊毛は羊より取る

○ men keep their pigs in pens.

豕を籬中に保つ 読み

○ he lies down and sleeps in bed.
彼ハ床ニ臥シテ寝ル
○ the new broom sweeps clean.
新シキ箒ハ能ク掃ク 諺ナリ
○ the wild deer runs in the woods.
野鹿ガ林中ヲ行ク
○ the red beet is good to eat.
火焔菜(アカトウジシャ)ハ食用ニ佳ナリ
○ if i meet him in the street, i will greet him
with a kind look and show him my new book.
我美シク彼ニ向ヒテ出逢ヒタル時ニ新シキ書籍ヲ
吾ニ見セタルト新タナリ

第三十六章

尾ニ同シ字ヲ添ヘタル言葉ノ綴方ヲ示ス三十九章迄大概同シ

Back	snack	quack	quick	rick	wick
hack	pack	beck	chick	brick	cock
jack	tack	deck	click	crick	clock
lack	crack	check	kick	prick	lock
black	track	neck	lick	trick	block

clack sack peck slick lick hock
slack tack speck nick lick shock
smack stack reck pick stick flock

第三十七章

peck chick stick bilk clank prank
rock tick elk hulk flank tank
brock click whelk skulk plank ink
crock flick jelk bank slank link
frock nick ilk lank rank blink

mock trick bilk hank crank clink
sock strick silk shank drank slink
buck sick milk lank prank pink
duck tick kill blank shrank brink

第三十八章

prink drink märk ïrk äsk disk
tink trink pärk dïrk bäsk risk
mink sink spärk kïrk cäsk brisk
wink slink stärk quïrk räsk frisk

twink ärk jerk cork fläsk busk

pink lärk clerk fork mäsk dusk

spunk därk smerk stork täsk husk

junk härk perk lurk desk ross

skunk shärk chirk turk bisk tuft

○ the smell of the pink is sweet.

ぴんぢやあうの花乃香ハ甘臭し

第三十九章

lusk snärl churl bärm bärn born

musk twirl pearl färm järn corn

rusk burl elm härm dern scorn

tusk curl helm chärm fern morn

härl purl film sperm stern lorn

märl hurl ärm term quern horn